

国際交流基金 × KYOTO EXPERIMENT

「Sequence (シークエンス)」

～日本と ASEAN 地域の舞台芸術分野・次世代人材育成プログラム～



『クルージング：旅する舌たち』

Photo by bozzo / 写真提供：城崎国際アートセンター（豊岡市）

『トゥアの片影』

Photo by Mark Teh

国際交流基金（JF）は、KYOTO EXPERIMENT と共催し、日本と ASEAN 地域の舞台芸術分野における、新たな人材育成事業「Sequence（シークエンス）」を実施します。

アーティストと観客の人的交流を通じて、次世代の人材育成を目指すもので、2025 年から 2027 年の 3 年間にわたる事業です。日本と ASEAN の次世代の交流促進と人材育成を目的とする包括的な人的交流事業「次世代共創パートナーシップ—文化の WA2.0—」の一環として行います。

本事業は、以下の 3 つのプログラムを軸として展開します。

- ① 日本と ASEAN 地域の次世代を担うアーティストのインキュベーション・プログラム
- ② ASEAN 地域を拠点とするアーティストによるパフォーマンス作品の招へい公演および交流プログラム
- ③ 日本と ASEAN 地域のアーティストによる国際共同制作プログラム

日本と ASEAN 地域を含むアジア地域には、多様な文化と複雑な社会・政治背景が存在します。本事業では、それらをひとつの物語にまとめあげるのではなく、大きな枠組みからこぼれ落ちてしまいがちな、断片的な個々の物事や視点をすくい上げながら、交流とつながりを深めていくことにフォーカスしていきます。

本事業を通じて、これからの日本と ASEAN 地域における舞台芸術が多方向的・多層的に展開することを願い、シーンの積み重ねをイメージさせる「Sequence」と命名しました。

この 3 年間にわたる取組みの中で、日本と ASEAN 地域を含むアジア地域の文脈を起点として捉えなおし、その視点からの舞台芸術における事象や考えをつなぎながら、次世代の人材育成を目指します。

今後の展開にぜひご注目ください。

この件に関するお問い合わせ：

国際交流基金 ブランド推進部 広報課（広報担当：福島、熊倉）

Tel: 03-5369-6075 / Fax: 03-5369-6044 E-mail: press@jpf.go.jp

【クレジット】

国際交流基金 × KYOTO EXPERIMENT 「Sequence」

主催：国際交流基金、KYOTO EXPERIMENT

【2025 年度プログラム概要】

① 「Shifting Points」 日本と ASEAN 地域の次世代を担うアーティストのインキュベーション・プログラム

JF、KYOTO EXPERIMENT、バンコク国際舞台芸術ミーティング（Bangkok International Performing Arts Meeting／BIPAM）の共催により、日本と ASEAN 地域の多様なバックグラウンドをもつ新進アーティストを対象とした 3 年間のインキュベーション・プログラムを実施しています。選出された 6 名のアーティストは、自身の創作に関するリサーチや、外部講師・シニアアーティストとの国際的な交流を通じて、思考や実践方法を深めていきます。

初年度となる 2024 年は BIPAM に参加し、今年度は KYOTO EXPERIMENT 2025 への参加を予定。最終年度には、プログラムの成果としてパフォーマンス発表を行う予定です。

＜フィールドワーク期間＞ 2025 年 10 月 19 日（日）～10 月 26 日（日）

＜派遣先＞ KYOTO EXPERIMENT 2025、その他京都市内の文化施設

＊期間中にトークイベントを開催します。

＜実施日（トーク）＞ 10 月 25 日（土）11:00-12:00

会場：京都芸術センター ミーティングルーム 2

＜主 催＞ 国際交流基金、KYOTO EXPERIMENT、BIPAM

＜参加アーティストの詳細はこちら＞

https://www.jpff.go.jp/j/project/culture/perform/exchange_perform/2024/02-01.html

② マレーシアの演出家マーク・テによる新作『トゥアの片影』公演・トークおよびワークショップ

マレーシアの現代演劇を代表する演出家、マーク・テを招へいし、新作『トゥアの片影』を上演します。マーク・テは、緻密なリサーチを基に、マレーシア社会における社会的・政治的アイデンティティを探究する手法で国際的に高く評価されているアーティストです。

本作品の上演と合わせて、彼の創作メソッドを学ぶワークショップを実施し、日本の演劇関係者やアーティスト、プロデューサーとの交流の場を設けます。それにより、今後の創作活動における示唆やヒントを提供します。さらに、マーク・テがメンバーであり、『トゥアの片影』を製作するマレーシア拠点のアート・コレクティブ「ファイブ・アーツ・センター」から、メンバーであるジュン・タンによるトークも開催。異なる言語・専門性を持つ人々が協働するための秘訣について学びます。

＜実施日＞ 2025 年 10 月 4 日（土）公演・トーク、5 日（日）公演、10 月 6 日（月）ワークショップ

＜会 場＞ 公演・ワークショップ：ロームシアター京都 ノースホール

トーク：ロームシアター京都 会議室 2

＜参加方法＞ KYOTO EXPERIMENT の公式サイトよりご確認ください。

＜主 催＞ 国際交流基金、KYOTO EXPERIMENT

③ 日本、フィリピン、台湾のアーティストらによる『クルージング：旅する舌たち』国際共同制作

国際共同制作事業では、異なる価値観や感性をもつアーティスト同士の議論や交流を促すことで、舞台芸術関係

この件に関するお問い合わせ：

国際交流基金 ブランド推進部 広報課（広報担当：福島、熊倉）

Tel: 03-5369-6075 / Fax: 03-5369-6044 E-mail: press@jpff.go.jp

者間のネットワーク強化や人材育成に貢献することを目指しています。

本作品は、日本、フィリピン、台湾を拠点とする 4 名のアーティストが「食」をテーマに、文化やアイデンティティの多層性、混交性に着目してリサーチと創作を行うプロジェクト。台北アーツフェスティバルのリサーチプログラム「クルージング」から展開したものです。京都と台北で重ねたリサーチをもとにコレクティブなクリエイションに取り組み、記憶と食べもののつながりから言語の広がりまでを旅するパフォーマンス作品を上演します。

＜公演日＞ 2025 年 9 月 12 日（金）～9 月 14 日（日）@台北アーツフェスティバル

2025 年 10 月 24 日（金）～10 月 26 日（日）@KYOTO EXPERIMENT 2025

＜チケット＞ 台北アーツフェスティバル (<https://tpac.org.taipei/en/festival-taipei/2025/program/1266>)

および、下記の KYOTO EXPERIMENT の公式サイトよりご確認ください。

＜共同製作＞ 国際交流基金、KYOTO EXPERIMENT、台北パフォーミングアーツセンター

※上記①～③のプログラムの詳細は、下記の KYOTO EXPERIMENT の公式サイトよりご覧いただけます。

KYOTO EXPERIMENT

KYOTO EXPERIMENT は、2010 年より京都市内で開催している舞台芸術祭です。国内外の「EXPERIMENT（エクスペリメント）＝実験」的な舞台芸術を創造・発信し、芸術表現と社会を、新しい形の対話でつなぐことを目指しています。演劇、ダンス、音楽、美術などジャンルを横断した実験的表現が集まり、そこから生まれる創造、体験、思考を通じて、新たな可能性をひらいていきます。

KYOTO EXPERIMENT 2025 は 10 月 4 日（土）から 10 月 26 日（日）に、京都市内各所にて開催されます。

公式ウェブサイト：<https://kyoto-ex.jp/>



国際交流基金(JF)は「日本の友人をふやし、世界との絆をはぐくむ。」をミッションに、「文化芸術交流」「日本語教育」「日本研究・国際対話」を推進する独立行政法人です。JF では 2024 年から 10 年間にわたって ASEAN を中心とするアジア諸国と、日本語教育、文化芸術、日本研究、国際対話の分野で、互いの価値を認め合う、包括的な人的交流プロジェクト「次世代共創パートナーシップー文化の WA2.0ー」を展開しています。

このプロジェクトは、2013 年から約 10 年間にわたって数多くの交流事業をおこなった「文化の WA（和・環・輪）プロジェクト～知り合うアジア～」を発展的に継続するもの。日本語パートナーズ事業と双方向の知的・文化交流事業を軸

この件に関するお問い合わせ：

国際交流基金 ブランド推進部 広報課（広報担当：福島、熊倉）

Tel: 03-5369-6075 / Fax: 03-5369-6044 E-mail: press@jpf.go.jp

に、心と心のふれあいを通じて、多層的な人的ネットワークの強化や、対象地域と日本との将来にわたる強い信頼関係の構築を目指します。

◆日本語パートナーズ事業

アジアの中学・高校などで日本語を教える教師やその生徒のパートナーとして、授業のアシスタントや日本文化の紹介をする人を派遣しています。

◆双方向の知的・文化交流事業

相互理解の上に成り立つコラボレーションの機会を創出することで、人と人の強い絆を培い、世界の架け橋となる次世代人材を育てます。

次世代共創パートナーシップー文化の WA2.0ー公式ウェブサイト <https://asiawa.jpf.go.jp/> では、これまでの取り組みを記事や動画で掲載しています。ぜひ、ご覧ください。



国際交流基金 公式ウェブサイト：<https://www.jpf.go.jp/>

国際交流基金からのお知らせ

舞台芸術情報サイト Performing Arts Network Japan

<https://performingarts.jpf.go.jp/>

多様性をもつ刺激的な日本の現代舞台芸術情報を海外に発信することを目的に、2004年にJFが創刊した毎月更新の日英二言語によるウェブサイトです。また世界の舞台芸術シーンの動向にも注目し、国際ナショナルプレゼンターの紹介を併せて行い、国際交流の活性化を図ります。

ぜひ、ご覧ください。



SNSにて最新情報発信中！



[TheJapanFoundation](https://www.facebook.com/TheJapanFoundation)



[@thejapanfoundation](https://www.youtube.com/@thejapanfoundation)



[@japanfoundation](https://twitter.com/japanfoundation)



[@japanfoundation](https://www.instagram.com/japanfoundation)

この件に関するお問い合わせ：

国際交流基金 ブランド推進部 広報課（広報担当：福島、熊倉）

Tel: 03-5369-6075 / Fax: 03-5369-6044 E-mail: press@jpf.go.jp